

◆ 青森県立図書館協議会会議結果のホームページ掲載について ◆

青森県立図書館協議会は、図書館法第14条の規定により、館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービス等について、館長に対して意見を述べる役割を担っています。

今回の会議から、会議結果をホームページに掲載することとしました。

第146回 青森県立図書館協議会 会議結果

1 日時・場所

平成19年10月17日（水） 13:00～16:00
青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館 4階 研修室

2 出席者

《 協議会委員 》 敬称略 7名

小又 淑 千葉 栄美 今井 千都子 山本 美和子
藤村 義美 田中 誠 雨森 道紘

《 図書館 》

水木 洋（図書館長）
黒岩 恭介（近代文学館長）
赤坂 高司（図書館副館長） 外9名

3 会議の概要

- (1) 館内案内
- (2) 図書館長あいさつ
- (3) 議長及び副議長の選出
議長 雨森 道紘（弘前大学大学院 理工学研究科 教授）
副議長 田中 誠（公募委員）
- (4) 案件
ア 図書館及び近代文学館の平成18年度事業実施状況並びに平成19年度事業計画について
イ ふるさと再生・新生重点事業「おやくにたちます！」図書館戦略の実施状況について

委員の意見・要望等

- ◆ おはなし会の読み手として、青森市外のボランティアの方も参加できれば、県立図書館のことも広報できるチャンスが増えると思います。
- ◆ 県内の図書館の中には、活動が活発な所もあれば、活発でない所もあり、また、図書館整備も整っていない所もあると思います。
職員研修は、実務的なことはもちろん必要ですが、活動の活性化や環境整備などに関する意見交換や検討・協議することも大事だと思います。
- ◆ 現在、非常に食育の大切さが言われています。食育は、様々な経験を通じて「食」に関する知識などを習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることですので、そのためには、小さい時から学び親しんでいくことで、大きくなっても継続していけるということが基本になると思います。
県立図書館において、子どもの頃から本に親しんでもらえるような活動をされていることがわかり、本当に素晴らしいことだと感心しています。
青森県には、いろいろな農畜産物など有名なものがありますので、そういったものも取り入れていただけたらと思います。
- ◆ 産業支援などに取り組んでいる、「おやくにたちます！」図書館戦略事業は非常に良い企画だと思います。
青森県は失業率が高く、雇用状況も良くないという厳しい状況なので、そのことにタイアップさせていることは、非常に良い企画だと思います。今後ますます充実させ、市町村へも波及させていってほしいと思います。
- ◆ 近代文学館は、青森県の大事な場所の一つ、他県に対しても自慢できる拠点になり得ると思いますので、一層、文学の普及啓発に頑張っていただきたいと思います。
- ◆ 本を寄贈をしたいという人がたくさんいると思います。本の寄贈受入れについて、特に市町村の図書館ではもっと活発に行っていく必要があると思います。
県立図書館は、青森県の図書館の拠点なので、市町村の図書館を指導するという立場から、そういったことも市町村へ働きかけしてはどうかと思います。
- ◆ 県立図書館をはじめ、それぞれの図書館が独特の活動をしていますので、もっと新聞等を通じて積極的に宣伝したらいいと思います。
- ◆ 本への関心など、知的好奇心を持つ子と持たない子の大きな二極化が、青森県内だけでなく全国的に進んでいます。それをどうすればいいのかを考えた時、図書館

と学校との連携が重要だと思います。

教員と図書館の連携は、取れているようで実は取れていません。例えば、モデル事業として、学校との連携の在り方について研究していったらいいと思います。また、教員も、図書館を利用しようという気運を高めていくことが必要だと思います。

- ◆ 学校と市町村の図書館、そして県立図書館との連携は、非常に大事だと思います。学校現場は、もっと連携が図れるような活動を推進していくことが必要だと思います。

学校図書館連絡協議会が設置されている所とされていない所がありますので、設置されていない所は立ち上げて、学校同士、また、学校と市町村の図書館との連絡を密にして、連携していくことが必要です。

- ◆ 子どもに、もっと地域の図書館に足を運んでほしいと思っていますが、なかなか自主的に図書館に行こうとしません。それは、行きやすい場所であるか、行きたくないような所であるか、ということがあります。

読書意欲がある子は別として、遊びがてら行ってみようという所にあるかどうか、もし周りに遊び場所があれば、外で遊んだ後に、中でじっくり静かに本を読むなど、相互にできるような環境があればいいと思います。

また、子どもだけで行けるような安全な場所であってほしい、そういう環境を整えていくことも必要だと思います。外側を含めた環境整備も、今後は必要ではないかと感じます。

- ◆ 県立図書館では様々な行事などを開催しており、拝聴したいと思うのですが、住んでいる場所が遠いため、できればサテライト会場を作っていただければと思います。

- ◆ 図書館の予算が年々減っており、図書や雑誌をこれまでのように購入できなくなっていると思います。

そこで、各地域ごとに、特定の分野の本を収集するというのはどうかと思っています。例えば、〇〇市では児童図書を、他の所ではドキュメントとか小説に力を入れましょうとか。

そういう特色を出した図書館づくりの指導も、県立図書館がしていただければと思います。

- ◆ 近代文学館に関して、何度か陸羯南の特別展を見に来ましたが、掲示しているパネルの文章が難し過ぎるようになります。

歴史書とかに素養がある人には何ともないかもしれませんが、少なくとも高校生あたりがちゃんと興味を持って読めるような、若い人が読めるようなパネルづくり、文体をもう少しわかりやすくしたらどうかと思います。